

## 奨励品種小麦「チクゴイズミ」の品種特性

農業研究センター 農産園芸研究所 作物部

### 研究のねらい

従来からの基幹品種であった「農林61号」は、成熟期が遅く雨害を受けやすいこと、耐倒伏性が劣ること等で、収量、品質が低下しやすく、近年は作付面積が急減している。また、現在作付の大部分を占める「シロガネコムギ」は、早生で耐倒伏性が優れているものの、穂発芽し易く、年次により退色、低アミロ化等の品質の低下がみられる。

一方、実需者からは製粉品質の高位安定が望まれている。

「チクゴイズミ」は、早生で縞萎縮病に抵抗性を持ち、多収である。また、穂発芽性が難で、外観品質および製麺性については食感（特に粘弾性、なめらかさ）が既存品種より優れていることから奨励品種に採用し県内小麦栽培地帯に普及を図る。

### 研究の成果

「チクゴイズミ」(関東107号/アサカゼコムギ)は次のような特性を有する。

1. 出穂期と成熟期は「シロガネコムギ」並で、「農林61号」より出穂期で6日程度、成熟期で4日程度早い早生種である。
2. 稈長は「シロガネコムギ」より10cm長く、「農林61号」より7cm短い中短稈種である。白ふで、「シロガネコムギ」より穂長は長く、穂数は同程度である。
3. 収量性は「シロガネコムギ」、「農林61号」よりやや高い。
4. 「シロガネコムギ」、「農林61号」より千粒重はやや大きく、外観品質に優れる。
5. 縞萎縮病、麦類萎縮病に強い。赤かび病、うどんこ病抵抗性は「シロガネコムギ」並である。枯れ熟れ様障害に対して強である。
6. 耐倒伏性は「シロガネコムギ」よりやや弱い、「農林61号」よりやや強い。
7. 穂発芽性は難である。
8. 製麺性は粘弾性となめらかさに優る。

### 普及上の留意点

1. うどんこ病、赤かび病に強くないので、適期防除を行う。
2. 早生種であるので、極端な早播きを避け、適期播種に努める。
3. 耐倒伏性は十分ではないので極端な多肥栽培をしない。

表1 生育及び耐病性

場所	品 種 名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	赤かび 病	うどん こ病
農 産 園 芸	チクゴイズミ	4.11	5.31	90	9.1	457	0.3	0.5	0.6
	農 林 61 号	4.16	6.5	97	9.3	463	1.2	0.3	0.8
	シロガネコムギ	4.11	5.30	81	8.6	444	0.0	0.2	0.8
菊 池 市	チクゴイズミ	4.15	6.3	86	8.9	444	0.2	0.7	0.5
	農 林 61 号	4.18	6.7	91	9.0	420	1.0	0.5	0.4
	シロガネコムギ	4.15	6.3	82	8.5	479	0.0	0.5	0.0
鹿 本 市	チクゴイズミ	4.14	5.31	79	8.9	330	0.2	0.3	0.0
	農 林 61 号	4.19	6.4	83	8.7	242	0.0	0.3	0.2
	シロガネコムギ	4.14	5.30	71	8.3	385	0.0	0.3	0.2

注) 農産園芸は平成3～5年(播種年度)の平均、現地は平成4～5年の平均  
障害は0(無)～5(甚)

表2 収量及び品質

場所	品 種 名	子実重 (kg/a)	収量比 (%)	千粒重 (g)	品 質 (1～9)	検査等級
農 産 園 芸	チクゴイズミ	37.4	110	40.3	2.1	1.0
	農 林 61 号	34.4	100	34.5	3.3	1.7
	シロガネコムギ	34.1	99	36.8	2.7	1.0
菊 池 市	チクゴイズミ	36.0	128	38.2	2.0	1.0
	農 林 61 号	28.1	100	34.0	3.0	1.5
	シロガネコムギ	33.6	120	35.3	3.4	1.5
鹿 本 市	チクゴイズミ	27.2	135	39.7	1.8	1.0
	農 林 61 号	20.2	100	36.4	2.0	1.0
	シロガネコムギ	23.4	116	35.4	2.4	1.5

注) 第1表と同じ、品質は上上(1)～下下(9)、検査等級は1等(1)～規格外(3)